

## 令和4年度 宇佐市功労者表彰

### 【一般表彰】

(敬称略)

No.	区分	氏名・団体名	年齢	住 所	功 績 等
1	3-1	JAおおいた北部事業部 安心院ぶどう部会 (部会長：小野 次信)	-	-	<p>同会は、昭和45年に設立されてから50年以上活動を続け、現在も99名の部会員で構成されている。</p> <p>日頃からの品質向上のための作業や高糖度のものに限定した出荷手法など、部会員のたゆまぬ努力により「安心院ぶどう」を地域ブランドとして確立した。</p> <p>特にシャインマスカットは三越デパートのお中元カタログに掲載されるなど、安心院の名を全国に広めた。さらに令和2年度からは、市のふるさと納税の返礼品となったことで、寄附額の増加にも貢献しており、市政の発展に大きく寄与している。</p> <p>また、平成27年に開校した宇佐市ぶどうファーマーズスクールでは、関係機関と連携し、産地の維持・拡大のための新規就農者や後継者の育成に尽力している。</p> <p>同会の長年にわたる活動は、本市の産業の振興に大きく寄与しており、その功績は顕著である。</p>
2	3-1	宇佐市食生活改善 推進協議会 (会長：荷宮 みち恵)	-	-	<p>同会は、平成3年に院内支部、平成4年に安心院支部、平成15年に宇佐支部が発足。その後、平成17年の市町村合併によって、宇佐市食生活改善推進協議会となり、現在に至る。</p> <p>地域で減塩・バランス食等の料理教室やイベントにおける郷土料理等に関する普及啓発資料の展示や食事作りを実施している。</p> <p>また、行政と協働した活動では、減塩&amp;適糖Wキャンペーンの一環として減塩みそ汁の試食提供やバランスランチオンマットを活用した普及啓発、バランスやカロリーオフのレシピ集作成において、企画から料理撮影などに尽力した。</p> <p>さらに、食育分野においても様々な組織と連携し、スポーツ関連イベント等で食文化の交流や食育ブースの開設等に携わっている。近年はコロナ禍において、手作りのお弁当を地域住民に配布する等、食生活改善だけでなく地域住民の見守り活動の役割も担ってきた。</p> <p>同会の活動は、市民の健康で豊かな生活づくりに大きく寄与しており、その功績は顕著である。</p>
3	3-2	院内 ローズベイ・コール (会長：末松 恵美)	-	-	<p>同会は、昭和58年に院内婦人コーラスとして発足し、40年近く経つ現在も14名の会員で活動を続けている。発足以来「院内芸術文化祭」や新市合併以降開催されている「いんない石橋の郷コンサート」に毎回出演している。</p> <p>また、大分県合唱連盟開催の「ママさんコーラス」には過去8回出場し、イベントの中で院内石橋の魅力を広く発信してきた。</p> <p>地域福祉としても、毎年、市内老人ホーム等のボランティア慰問をしており、社会貢献活動を継続している。</p> <p>同会の活動は、本市の文化向上や福祉の増進に大きく寄与しており、その功績は顕著である。</p>

## 令和4年度 宇佐市功労者表彰

### 【一般表彰】

(敬称略)

No.	区分	氏名・団体名	年齢	住 所	功 績 等
4	3-3	はやみ まさつぎ 速見 正次	74	大字森山	<p>氏は、平成20年定年退職を機に地域の美化活動を始め、以来14年間にわたり毎朝約2時間、年間300日以上、市海岸線や幹線道路、河川敷のごみ拾いなどの美化活動を続けている。これまでに拾ったごみの量は、14年間で100 tを超え、その活動は地域の環境美化や福祉の増進に大きく寄与した。</p> <p>さらに近年は、独自の活動とは別にボランティア団体を結成し、週1回の清掃活動を始めるとともに、SNSを通じて活動状況等を発信することで、意識啓発を図っている。</p> <p>氏の長年の善行は、周囲に多大な影響を与え、市民の模範となるものである。</p>